

ハンドボール No. 44 → No. 54

Japan
Handball
Association

<input type="checkbox"/>	社会人	<input type="checkbox"/>	全国大会	<input type="checkbox"/>	男子
<input type="checkbox"/>	学生	<input type="checkbox"/>	ブロック大会	<input type="checkbox"/>	女子
<input type="checkbox"/>	高専	<input type="checkbox"/>	都道府県大会		
<input checked="" type="checkbox"/>	高体連	<input type="checkbox"/>	地区大会		
<input type="checkbox"/>	中体連				
<input type="checkbox"/>	小学生				
<input type="checkbox"/>	県協会				

試合 番号	北電B-男30
----------	---------

年月日	2021年8月17日(火)
大会名	令和3年度全国高等学校体育大会 球技部B2ブロック日本高等学校ハンドボール選手権大会

公式記録用紙

A	鳥取県立境高等学校						近江兄弟社高等学校						B	
福井県	永平寺町			北陸電力福井体育館フレアコート						2回戦				
前半	A	B	最終結果	A	B	第1延長	A	B	第2延長	A	B	7mTC	A	B
	11	9		19	16									
7m得点/総数	A			チームタイムアウト			B			チームタイムアウト			7m得点/総数	
	0/1	1	2	後半	3		1	2	後半	3	2/3			
			2449				2538	1559						

No.	境高校	G	W	2	D	DR	No.	近江兄弟社高校	G	W	2	D	DR
1	若宮 宏希						1	北村 篤希					
2 c	遠藤 叶翔						2	佐野 瑠希歩					
3	岡田 大基	1	1				3	畠江 晶	3				
4	村松 優						4 c	中村 陽大					
5	佐々木 峻人	6		2			5	西村 健人	3				
6	藤原 晴	2					6	八木 優人	2		1		
7	内田 将斗						7	林 優我	1	1			
8	山形 伍葵						8	居川 侑右					
9	豊田 陸斗						9	吉岡 功起	5				
10	櫻田 聖成						11	中山 元希					
12	田崎 秀翔						12	松井 柁音					
14	山口 凪翔						14	山本 颯太郎	2				
15	花本 大空	7					19	林 長紀					
17	坂本 恭一	3					16	國領 大空					
役員A	竹安 未央						役員A	飯田 一郎					
役員B	千歳 百香						役員B	鈴木 涼太					
役員C	山口 絢加						役員C	廣瀬 絃征					
役員D							役員D						

A	竹安 未央	チーム役員A署名	飯田 一郎	B
---	-------	----------	-------	---

レフェリー	日比野 起年	中里 栄二	日比野 起年	中里 栄二
T D	藤坂 明雄	田中 秀昭	藤坂 明雄	田中 秀昭
M O				

得点(G), 警告(W), 退場(2), 失格(D), 報告書付き失格(DR) 特記事項に報告書として内容を記入

ハンドボール No. 36 → No. 56.

令和3度全国高等学校総合体育大会
高松宮記念杯第72回全日本高等学校ハンドボール選手権大会

戦評

開催日	2021年 8月17日 火曜
会場	北陸電力福井体育館フレアBコート
種別	男子
回戦	2回戦

スコア	チーム名	総得点	前半	総得点	チーム名
	境高校	19	16	11-9	16
後半					
8-7					
第1延長		第2延長		7MC	
—		—		—	
—		—		—	

※第1延長・第2延長及び7MCの得点は総得点に加算してください。

戦評	前半	境のスローオフでスタート。3:2:1DFの兄弟社に対し、境の15番花本のロングシュートから試合が動き出す。勢いに乗る15番花本の連続得点、6番八木の速攻で点差を広げていく。初戦の緊張感のある兄弟社だが、4番中村のアウトカットインや3番富江の速攻でくらく。互いにシュートが決まらない時間が続く中、兄弟社が6:0DFにシステムを変える。境のミスを誘い、3番富江の速攻で得点を増やしていく。境の速攻のチャンスも兄弟社1番北村のファインセーブ、兄弟社堅守が波に乗ってくる。しかし、境の15番花本、5番佐々木のダイナミックなロングシュートやカットインを武器に境も得点を重ねていく。互いのチーム、時間の経過と共に増えていくDFの運動量に苦しみながら11-9境リードで前半を終えた。
	後半	兄弟社5番西村のOFに対し境5番佐々木が退場。そのチャンスに確実に得点を重ね、11-11の同点に追いつき、更に3番富江のループシュートで逆転をする。兄弟社のDFのフットワークが境のOFを苦しめるも、5番佐々木、6番藤原の速攻で境が再び逆転。両チーム一進一退の攻防の時間が続く。兄弟社9番吉岡の対面で得点するも、境のスカイプレーが決まり、一気に境ベンチが盛り上がる。勢いに乗る境に対し、兄弟社GK1番北村のサイドシュートセーブがチームを鼓舞する。点差を離されたくない兄弟社だが、5番佐々木のスピンシュートで益々勢いが加速する。試合終盤、4番中村、6番八木を中心に境のDFラインを崩しにかかるが、堅守が持ち味の両チームの対決は、境に軍配が上がった。

記入者 竹内 功